

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道229号 岩内改良 <small>いわないかいりょう</small>		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道岩内郡岩内町字敷島内 至：北海道磯谷郡蘭越町字港町				延長	10.3 km
事業概要	一般国道229号は、小樽市を起点とし江差町に至る延長287kmの幹線道路である。当該事業は、後志地方西部岩内町から蘭越町に至る区間において、防災点検要対策箇所及び通行規制区間を解消し、緊急輸送道路道路、物流・生活道路として機能確保を目的とした延長10.3kmの防災事業である。					
S60年度事業化	H1年度都市計画決定 (H1年度変更)		S63年度用地着手	S63年度工事着手		
全体事業費	約359億円		事業進捗率	86%	供用済延長	8.6km
計画交通量	3,600台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 5.6	総費用 (残事業)/ (事業全体) 47/417億円 事業費：47/417億円 維持管理費：0/0億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 262/494億円 走行時間短縮便益：241/465億円 走行経費減少便益：20/27億円 交通事故減少便益：1/1億円	基準年 平成16年		
感度分析の結果	<p>全体事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=1.3（交通量+10%） B/C=1.1（交通量-10%）</p> <p>事業費変動：B/C=1.1（事業費+10%） B/C=1.3（事業費-10%）</p> <p>事業期間変動：B/C=1.0（事業期間+20%） B/C=1.3（事業期間-20%）</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害への備え（通行規制区間及び防災点検要対策箇所を解消、災害による孤立化地域を解消する） ・国土・地域のネットワークの構築（大型車すれ違い困難区間を解消する） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上） <p style="text-align: right;">他8項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	効率的な地域間交流網整備として防災対策・交通安全対策を行うことが期待されており、岩内町など1市13町6村の首長等で構成される期成会等より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成8年度防災総点検等に基づく対策必要箇所の増大により平成9年度事業化区間の延伸を行った。平成14年度までカストンネル(L=638m)、雷電トンネル(L=3,570m)、刀掛トンネル(L=2,754m)を供用。後志管内は、観光入込数約2,300万人で全道一(H15年度)。昭和61年より北電泊原発が運転開始、現在3号機建設中。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	昭和63年度に工事着手後、全体延長10.3kmのうち平成16年度末までに8.6kmが供用済みとなっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残る区間も鋭意事業を進め平成19年度までに完了する予定である。					
施設の構造や工法の変更等	再生材の活用、排水管の管種変更、覆道における三層緩衝工の採用等よりコストの縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。